

議会だより



次にそなえて大きく息つぎ —中町南小学校—

6月定例会

- **国保税条例を改定** ▶ 2
- **期末手当0.2カ月カット** 町職員・特別職 ▶ 4
- **校庭芝生化で学校園と地域が一体に** ▶ 16
- **こんなとない これどうなるの** 12人が一般質問 ▶ 6

国保税額据え置きを基本に

国保税条例を改定

国保税額を引き上げないのが最大の滞納対策で一致

毎年6月に開催される定例議会では、その年度の国民健康保険（以下国保といいます）税率を決定しています。今年度は、国保加入者の所得の減に伴う所得割率の引き上げを最低限度におさえつつ、資産割率を引き下げ、全体としてほぼ昨年並みの税額になっています。また、40歳から64歳の国保加入者が納めている介護分についても見直しをおこない、税率を引き下げました。

近年は医療費の伸びが著しく、国保税の引き上げは避けることのできな

い課題となっています。しかし昨今の厳しい経済情勢のなか国保税の値上げは避けたいところです。

そこで今年度は不足額は基金の取り崩しで賄い、国保税額は据え置く方針で国保税条例が改定されました。

このたびの議会で決定した税率は下の表のとおりです。

今回の改定で、例えば標準的な年金収入のみで固定資産税が8万円の持ち家に住む70歳と68歳の夫婦のみの世帯の場合、

昨年と比べて年額4000

円の減額に、所得240

万円、固定資産税が8万

円課税されている40代の

夫婦と子ども2人の世帯

の場合は、昨年と比べ年

額で1700円の減額とな

ります。（※）

審議の過程では、昨年

に引き続き、大きな額を

基金から取り崩すことを

心配する意見や、滞納対

策を優先すべきとの意見

が出されましたが、所管

の厚生常任委員会では、

「基金は不況の時にこそ

活用するべきもの」

「国保税を引き上げない

事が最大の滞納対策」

という意見で一致。

改定後の税率

	医療	介護	後期高齢
所得	4.82/100	1.52/100	1.66/100
資産	17.80/100	6.40/100	6.20/100
均等	21,540円	9,300円	7,500円
平等	17,700円	4,800円	6,000円

定例会最終日には、全員賛成で条例を可決しました。

（※記載例の所得、固定資産税額、家族構成は一人ひとりで異なります。）



元気が一番

職員の旅費に関する条例改定
役場職員の
自家用車も活用します

この間議会では、公用車の台数削減を求めてきました。

現在の公用車（貨物、特殊車両除く）は、12台減の71台。

町内2施設は公用車が配備されなくなりました。そのため条例改定で、公用車が配備されていない施設の職員が、自家用車を公務で使用するための規定を設けました。

この措置で、合併直後の18年度と比べ約300万円程度の経費節減になる見込みです。

国の緊急経済対策で大型補正

6月定例会に5億3100万円の大型補正予算案が提案され、慎重審議の結果賛成14人、反対3人で原案どおり可決しました。

6月定例会には、国から地域景気対策として新たに3億5700万円が交付されるのを受け、交付金すべてを有効に活用するため、総額5億3100万円の補正予算が提案されました。

この交付金の使途は原則自由です。

議員からは、例えば単年度だけしか実施できなくとも、地域経済の活性化につながるプレミアム商品券の発行への補助や保育料の引き下げなどに使うべきではないか。との意見も出されましたが、財政状況が厳しい中、次年度以降に計画されていた事業の前倒し実施にほぼ全額あてられる事になりました。

審議の過程では、菓の

花刈取用コンバイン、土づくりセンターの設置及び関連機材の購入後の活用方法等の方針について話し、単なる一業者への便宜供与にならないよう厳しく指摘。

「なごみの里山都」の経営刷新にかかると冷凍ショーケースの購入については、指定管理者制度のもとでいつまで補助を続けるのか等、ショーケースの導入を疑問視する意見が続出しました。

さらに町道の改良工事の新規着工は村要望ですが、「村要望」の考え方に各区ばらつきがみられます。不公平感のないよう、考え方を統一する必要があるのでは、との意見がでました。

反対討論

これではただの便宜供与にすぎない

高澤栄子
ただモノを買い、建てるだけの予算で、将来的な施策・展望に基づいた投資になっていない。また、特定の地域や団体に偏り、内需拡大にもなっていない。こういう時こそ、例えばプレミアム商品券等、地域に還元、住民生活を応援するものに使うべき。

賛成討論

使用期限が限られるなか適切な配分だ

河崎 一
国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金の制度上、使用期限も限られています。適切妥当な資金配分、事業振り分けとなっています。今後とも将来につながる分野に効率的にお金を使うよう知恵をしばっていたきたい。

経済危機・機会を逃がさず迅速に

清水俊博
繊維産業等未曾有の深刻さを増す地域経済、顕著な少子化が予測される本町。
学校耐震化整備等次世代への贈りもの事業及び、前倒し可能な経済救済事業のみに限定し地域経済の活性化へ全力で取り組むべし。

新型インフルエンザに備えてマスクを購入

6月議会には、地域活性化交付金を財源とした補正も提案されました。主な内容は、県下で唯一未設置となっていたオストメイト対応トイレを、多目的トイレに設置します。

場所は、アスパルに2カ所、ベルディーホールに1カ所です。
また「学童クラブ」の希望児童が増えたことから中町幼稚園の預かり保育の指導員の1名増員、杉っ子クラブのスクールロッカーの不足分を購入します。

また、秋に第二波が心配されている新型インフルエンザに対応するためマスクなどの消耗品を購入し、備蓄しておくことにしました。

カット 町長・特別職

臨時議会（4月28日、5月29日）



12時から1時の間も窓口は開いています

臨時議会では、町長、副町長、教育長、町議会議員、町職員に6月に支給する期末手当等を0・2カ月分減額する条例改定が提案されました。内容は「多可町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」と「多可町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例」の2件です。町長や町議会議員などの期末手当の減額は、全議員賛成で可決しました。町職員の期末手当の減額は、反対2人、賛成15人で可決しました。

反対討論

最低賃金改定に悪影響がでる

辻 誠一

この度の夏期一時金の減額は、莫大な内部留保を保有しながら更なる労働者の賃金切り下げを狙う財界の圧力から出されたものです。この時期の引き下げは、地域別最低賃金改定にも冷や水を浴びせるものになり賛成できません。

人事院勧告

時流を読めず

安藤弘道

夏のボーナスを人事院創設以来初の減額勧告を行った。いざなぎ景気の幻想に酔い、国民の生活を理解していない。

中小、零細の従業員は労働者派遣法が緩和されたころより、ボーナスゼロに甘んじ続けている。0・2カ月では少ない。

賛成討論

人件費の削減になることは事実

高澤栄子

5月の人事院の緊急勧告を受け、夏のボーナスに限っての0・2カ月の引き下げ。国にならえ式で、もう少し地域事情等を加味した町独自の判断があつて然るべきだと思えますが、人件費の削減になることは違いのないで賛成します。

補正予算

20年度民間保育所が受け入れた、途中入所児の助成金が不足したため、160万円増額します。また、ため池調査設計費として380万円を追加します。

多可町内の警戒ため池は、全部で7カ所あり、計画的に整備しています。今回追加の補正は、その内の2カ所で、奥中南池と、的場矢守池です。この2カ所は漏水が増え、安全安心な農村づくりからも早急に改修する必要があります。そのため調査設計費用です。

期末手当0.2カ月

役場の昼休みが12時から1時になります

臨時議会に、「多可町職員の勤務時間、休暇に関する条例及び多可町職員の育児休業等に関する条例の一部改正」が提案されました。

改定内容は、勤務時間を15分短縮するというものです。これまで町職員

は、12時15分から1時までを昼休みとしてきました。

このたびの改定で昼休みが12時から1時間になります。

反対2人、賛成15人で可決しました。

反対討論

勤務時間短縮で格差が広がる

門脇幸澄

職員の1日の勤務時間を人事院勧告をたてに15分短縮することは、サービス残業やリストラで苦しむ民間を尻目に公務員天国をつくり格差の拡大だ。職員の不祥事が続き行革でも大きな成果もないのに強行すれば、町民の大きな批判を受ける。

仕事中に休憩は納得できぬ

池田義孝

年間、3日休暇が増えるに等しく、住民感情を逆撫でする行為です。人員削減が進めば、負担が重くなり、若い職員には自殺行為です。職員待遇は住民の怨嗟の対象です。ますます溝が深まります。休憩時間も無く、就業中に休憩など納得できません。

農業委員会に

4名の方を決定

21年5月10日に任期満了となります農業委員の議会推せんを、次の4名の方に決定しました。

中 区 宮崎正己さん
加美区 梅田浩三さん
加美区 園田 守さん
八千代区 門脇 奨さん

新しい農業委員の任期は21年5月11日～24年5月10日の3年間です。

賛成討論

人事院勧告には従うべき

大西一好

地方財政悪化の中、0.2カ月のボーナスカットは止むを得ないと考える。勤務時間の15分短縮については、人事院勧告に基づくものであり、5月に提起された職員不祥事再発防止の取り組み指針を実行することによりサービス低下は避けられる。

人事院勧告の完全実施を

竹本克之

休憩時間15分延長条例は、住民サービスの低下をさせないこと。期末手当0.2カ月分減額条例は、役場関係者の生活権に大きく関わりますが、公務員優遇感情蔓延のなか、敢えて容認すべきであり両条例に賛成します。

こんなとない これどうなってるの

6月定例議会での一般質問は、6月25日に行われ、12人の議員が行政全般について質問をしました。



河崎 一 議員

組織改革と 人事管理を問う

河崎 ①公務組織は硬直化、陳腐化が顕著です。そこへ合併して大きくなっただが、リストラ（組織の再構築）が全くなされていません。行政コスト構造の改革、役場組織を果敢に変えていく必要に迫られていると思うがどうですか。

また、職員の不祥事や職務能力を厳しく質さなければならぬ事案が顕在化。組織改革と人事管理は表裏一体です。この根源的な課題にどう取り組まれるのですか。

②これからいよいよ合併の真価が問われてきます。ハード、ソフト両面から本格的な町づくりの臨むことになりましたが、引き続きこの大きな役割と責任を担われる決意は。

「新しい公」と
「信賞必罰」を念頭に

町長

①行政改革の最たるものが

合併であり、組織の変革は急務です。役場を少数精鋭の政策官庁にかえ、事業部門を「新しい公」部門としてNPOや民間に委ねる方法を考えています。また、今後の職員管理は「信賞必罰」を原則にあたります。

②地域の持つ絆を大切に育てながら、多可町を「幸福への芽ばえが実感できる町」へと導きたく、引き続き、新町の創生と発展に全身全霊を捧げる覚悟です。



大西 一好 議員

高校への期待と 地域の役割は

大西 創立34年の県立多可高校、地域の活力の発信源であり活動力でもあります。クラス減を少子化のためでは無責任です。対応策は。

全面的な支援を
惜しみません

町長 何にもまして多可町の発展を支える人材育成は大事であると認識し、多可町のシンボルの一つとし

てコミバスによる通学の条件整備、通学路の安全確保、地域交流の場の提供等積極的により支援をさせていたきたい。経済的格差の問題については、奨学金制度を全面的に見直して、制度を拡充します。

学習指導要領改訂と

取り組みは

大西 新学習指導要領と、本町の教育指導方針および重点施策との整合性や、全国学力・体力調査の結果をどのように織り込むのですか。



町の将来をになう多可高校生

教育施策の完成度を 高めます

教育長

基礎基本の定着と確かな学力・確かな心の育成、家庭・地域の教育力の向上、子どもの安全・安心の確保等の実践を進め、また今回改訂の授業時間数の増については、行事の見直しをしながら

教科学習の充実に努めます。既に実施している全国的学力テスト及び体力テストについては、検討委員会の中で分析・検討し成果に結びつけます。

障害者自立支援法 改善策は

大西 障害者自立支援法の問題点に①応益負担②施設における補助金廃止による個別給付移行③程度区分判定④地域格差があり、その改善についてお聞きします。

地域の基盤整備・
充実に取り組みます

町長

障害者の皆さんが、住みなれた地域でいつまでも安心して暮らしていけるようにするために、地域生活支援の充実や、一層の就労移行を進めることを目的として、障害者福祉計画を策定しています。計画の進捗状況の分析評価をし、引き続き取り組むべき新たな課題を整備していきます。

インフルエンザの 与えた影響は



廣畑 幸子 議員

廣畑 多方面に影響を与えた新型インフルエンザですが、今後の対策は、学校現場でも、今までに経験のない4日間もの休校や、修学旅行などが延期されています。その対応は。

対策マニュアルを 早急に作成

町長

いまだ感染者が後を絶たないインフルエンザ。安全宣言が出されたとはいえ、完全終息には至っていません。多可町としては、県の新型インフルエンザ対策計画に基づき、県からの行動計画や指示指導内容に加え、実践可能な計画を早急に作成したいと考えています。

教育長

県からは18日からの休業指示でしたが、多可町は5月19日から22日までの4日間を休校としました。学力の確保と家族への負担を最小にするためにも、夏休みを少なくし、通常通りの授業を4日間実施、8月26日を始業式とします。修学旅行

や自然学校は、既に終わっている学校もありますが、9月から10月にかけてすべての学校で実施予定です。



ドキドキしながら海へ ー八千代南小学校 自然学校ー

薬の説明書は必要 かつ大事なものが

廣畑 医療機関では、

薬とともに、説明書が出ます。服用の仕方など大切なことが書いてありますが、何年も同じものをもたらう人から、「お金も掛かっている。いらんだけど」という声も。どのような対策が。

情報提供は

とても大事

町長

薬剤師さんの業務には、患者さんの様々な情報の管理、薬剤の情報提供があります。薬の投与に事故があつてはなりません。重なる説明でも、ご理解いただきたいと思います。



門脇 幸澄 議員

子育て支援と 少子化対策

門脇 昨年の日本の合計特殊出生率が少し改善しましたが、多可町ではこの4年間に人口が819人も減少しました。出産適齢期の若者や35歳前後の団塊ジュニアを取り巻く環境は非常に厳しく、収入が少なく、結婚できない若者や、経済的理由で出産を断念する夫婦が増えています。多可町の合計特殊出生率も17年には1・37と5年前より0・3も下がっています。地域活性化臨時交付金を少子化対策へもっと回すべきです。今後の子育て支援策を。

少子化対策は

長期的持続的に

町長

平成17年から国の次世代育成対策推進法に沿って事業を展開しています。今回の補正予算の使い道については、持続可能な施策を実施していきます。

太陽光発電の

普及策を問う

門脇 今年から太陽光発電を住宅に設置するときの国の補助制度が復活し、1件当たり21万円から28万円がもらえます。また5月から自治体の太陽光発電の導入に対し費用の半分を国が補助。地球温暖化防止とエネルギー自給率の向上と地域の雇用効果も生まれ、一石三鳥が期待できます。



わんぱく盛り子どもたち ー八千代子育てサークルー

学校や庁舎の改築の際に太陽光発電を導入し、町民への補助制度を導入してはどうか。

効果があれば

導入する

町長

国のエネルギー施策の動向を考慮し、投資効果ありと判断すれば導入したい。ただし、単独の上乗せ補助には慎重とならざるを得ません。

新型インフルエンザ

対策は万全か

門脇 5年前旧八千代町の工場に鳥インフルエンザに汚染された鶏1万羽が持ち込まれパニックになりました。新型インフルエンザ対策は万全か。

対策を急ぎます

防災監

100万円
の予算を
組み、マスク、消毒液、防護服の購入を予定。また、県は今年度中タミフルを32万人分備蓄する予定です。



CO2削減は人類の課題

住民の医療にかかる権利を守れ



辻 誠一議員

辻 秋には、新型コロナウイルスエンザの第二波到来も危惧されています。そこで経済的な理由によ

って必要な医療を受けられる機会が制限されないよう、町立診療所などは、医療機関が無料等で診療をおこなえる無料低額診療事業に取り組むべきです。また事業の休廃止、失業等により収入が著しく減少した人を対象にした、医療費窓口負担金の減額免除制度の創設が必要だと考えますが。

近隣自治体と調整する

町長

無料低額診療事業は、私

も重要な事業と認識しています。広域連携が必要でもあり、北播磨保健医療福祉連絡協議会で調整をします。また、一部負担金減額免除制度の創設は、研究し実施できる方向へ持っていけます。

家賃補助制度を

つくりたい

辻

4月より、普通町営住宅の入居基準が厳しくなり多くの若者が町営住宅の入居を申し込む事すらできなくなりました。

若年層の町内定着を促進するため町内の民間賃貸住宅に居住する若者世帯に対して、3万円、5年間を上限に家賃の50%を補助する制度を創設してはどうか。

若者定住施策を

総合的に検討する

住民課長

町としても新婚世帯

や子どもを持つ若い世帯が定住できるように支援施策を、今ある施策も含めて早急に検討していかなければいけないと考えています。

保育料を

引き下げよ

辻

20年度生まれの子どもは、現在の半数以下の148人しかおりません。

このままでは、7小学校、3中学校を維持できません。周辺自治体からの若者世帯の獲得のために若者世帯にインパクトがある保育料の思い切った引き下げを。

財源確保を含め

今後の課題に

町長

保育料の引き下げには多

額の町費を投じなければなりません。保育施設の統廃合など財源の確保を含め今後の課題にさせていただきます。



友だち100人できるかな? —きた保育所—



高澤 栄子 議員

選挙の立会人は公募で

高澤 選挙のときの立会人は、現在、各集落の役員さんに依頼されているが、選挙啓発等の意味を込め、新成人や若者を公募、選任して実施している自治体もある。

こういう社会情勢のなか、立会人を含め、単発の臨時雇用として一般から公募して実施してはどうか。その価値は十分にあると考える。要は考え方とやる気です。

選挙管理委員会が決めること

町長

公募等、選挙のことに

関しては、選挙管理委員会

の所管です。意見については、選管につなげます。



今年はあと2回選挙があります

特別職の期末手当加算制度の廃止を

高澤

特別職の期末手当は、月額報酬に10%を増した額を基準額として算出され、非常勤職員の議員にもこれが準用されています。このことは、

一般職の役職加算とは違い、いかにもお手盛りのでおかしい。特に、議員のそれは、法的根拠がな

いとして、廃止した自治体もあります。

条例があるとはいえ、このことはこちらが問題にしない限り、協議の場に出ることはないと思う。まずは、特別職報酬審議会でこれを公開、協議、廃止すべきです。これは今すぐにも出来る改革です。

審議会は7月に開催

町長

審議会は、7月に開催

総務課長

7月に開催します。増減にかかわらず毎年、同時期に見直すことのルール化を図ります。条例でこのようになっています。

審議会では、給料のこと以外、決められないことになっていきます。

少子化対策は しつかりと



大西多津子 議員

今の社会情勢、町の財政状況を考え、中長期の課題として前向きに検討していきたいと考えます。

都市部と共存共有の 施策が必要

大西

大西 バイオマスターン多可町は、特色ある田園風景の町を広くPRし、麦、大豆等の減反対策と、菜の花プロジェクトで、都市部との交流と産業の情報消費が共存共有できる施策が必要であると思うが。

重要な課題と認識

町長

人口減少と少子化対策が重大な課題になっていきます。働く場所と住む場所、気軽に利用できる保育所等の子育て支援施策、この3つの視点が重要だと考えます。

地域ブランドの 確立に努力

町長

都市部の皆さんに、多可町に目を向けてもらい、一緒に頑張って連携しながら地域づくりをやりたいだけですが、大きな課題です。コシヒカリ、山



麦とろろご飯が食べられます 一道の駅かみー

インフルエンザは 食生活の予防強化を

大西

インフルエンザ騒ぎで経済にも大きな影響が出ました。正しい食生活で健康管理の意識を高めることも必要です。農業施策として麦ごはん等で健康づくりを進める町にしては。

食生活で健康管理

健康福祉課長

かぜはもつとも身近な病気です。もう一度認識し、正しい知識を身につけ毎日の食事に気をつけることが一番の予防です。いずみ会の活動をとおし、食事バランスガイドを活用した食育活動を推進します。

産業課長

田錦など地域あげて取り組んでいる作物もあり、地域ブランドの確立に特に力を入れていきます。バイオマスの利活用ならびに地産地消、資源循環を推進し、環境に優しい元気な町づくりを目指していきます。



清水俊博議員

急激な人口減少化 急ぎ対策を

清水 「人口減少」本町はより深刻です。新町建設計画の基本に揺らぎが、非婚・晩婚・有配偶出生率の低下等要因は単純ではないが「出会う機会がない」なども要因に考えられます。婚活支援等積極的支援が必要です。所信をうかがう。

総合的な施策が必要

町長

30年後には人口が17、

600人になる予測があります。職場・住宅・保育環境確保等々総合的施策の展開が必要と考えます。

出合いサポート事業について必要性は認めますが、現状から民間に委ねます。実施団体の活動は、最大限の支援をします。



紫外線対策バッチリ ー北播磨余暇村公園ー

紫外線対策への 対応は適切に

清水

母子手帳から

「日光浴」の文字が消え、WHO報告では過度の「日焼け」は「がんリスクが増大」とあります。特に幼少期の影響は顕著で、適正な「紫外線対策」が必要と提言しています。認識と対応策は。

十分注意し

健康管理の徹底を

教育長

子供たちの体力低下、

運動能力低下が懸念される状況にあり外遊びの重要性も認識されています。紫外線の浴びすぎに対する弊害は十分に認識しており、各学校園へ文科省等による保健情報、注意喚起を適切にして健康管理を徹底します。

教育事務評価の 具体について

清水

「地教法」の一部改正により「教育委員会責任のより明確化」が謳われ、教育委員会は自らその権限に属する事務、管理、執行状況を「点検評価」し公表する事となりました。考え方に並びに評価方法等、その具体策は。

今後にいかに 評価を実践を

教育長

従来から現場第一、

「特色ある学校園」創りを実践してきました。学校では外部評価・内部評価を実施。教育委員会も20年度を5段階評価し公表します。

これらデータを次年度に活かし、極力数値化することで、町民の皆さんに見えるものにした。

グラウンドゴルフ場を
作るべき



渡邊喜博議員

渡邊 生活環境の変化や少子高齢化等、3人に1人は高齢者という状況の中で、医療や介護が町政の大きなテーマです。年間20億円を超える介護保険特別会計は、毎年増え続けることは現実です。

昨年私は、高齢者の健康増進と居場所づくりのため町営グラウンドゴルフ場を作る案を質問しました。町長は前向きな考えではありましたが、敬老の町のPRや、世代間交流の推進のためにも、早急に具体化すべきではありませんか。



安藤弘道議員

杉原川に魚がない



白さぎだけが原因ではありません

安藤 5月4日の正平調の欄で2050年の環境問題が喚起されています。同じ日、「杉原川に魚がない」の指摘を受けました。施設処理排水や、合併浄化槽管理に問題はないのか疑念があり、各河川の水質PHを調査しました。淀んだ川底が青味を帯び、堰堤が洗われ、処理水は酸性値を示し、新たな問題点も浮かんできました。白さぎ、川鶉のせいではなく酸性雨に問題ありと思えます。

す。環境悪化、経済の成長、どちらを重視されるのか。

清流、水質は安定している

町長

担当が中区杉原川各地に魚を確認しています。白さぎ、川鶉も各河川に見えますが、各地で魚を求めて飛来する川鶉の被害が問題視されています。今年には杉原川に螢の乱舞を見ており、近年清流を取り戻し、安定した水質を保持しています。

経済成長と環境、いずれかと問われれば、環境保全を重視します。

防災監

水質検査の結果、数値はすべて問題がありません。酸性雨に関しては中国、国内工場、排気ガス等の検証は十分にできていません。今後の課題かと思えます。



グラウンドゴルフは健康の秘けつ ーガルテン八千代グラウンドー

**既存施設の
有効活用の中で**

町長

高齢者の健康増進や介護予防をいかにして全町的に展開し、かつ効果を上げ、元気な高齢者を増やしていくかというのは今

後の重要課題と考えています。

そして高齢者の生きがいや、居場所づくりのための支援も必要です。

グラウンドゴルフ場の設置案は、既存の施設を有効活用しながら、時代にあった施設に改変していく中で考えます。

**たかテレビの
加入率拡大を**

竹本

町内の広範囲が地デジ難視聴地域で【たかテレビ】開局が余儀なく、加入促進に区長をはじめ関係者の並々ならぬ努力がされています。隣に加東市は受信可能地域がほとんどですが、その市に比べて加入率が低迷と聞きます。

特例債使用とはいえ、多額の税を投入する施策



竹本克之議員

上からも、限りなく100%加入に近づけるのが公平性確保、ましてや9月末が加入促進の加入金サービス期間。徹底した周知を。全町民が情報の共有化ができ【真(心)の合併】も早まると思います。町長の考えは。

**加入促進に
全力投球**

町長

今年4月より、かみテレビを【たかテレビ】に改称以来、情報の共有化と促進期間の周知は非常に重要なポイントと認識し、集落単位や各種団体の会合・イベント・共聴組合などで事業者と共に説明会を開きました。しかし、アンテナで直



しっかりテレビを見ています ー中町幼稚園ー

受信されている方々には、必要性をなかなか感じていただけないのが現状です。

引き続き広報誌・各戸回覧・新聞折り込み・事業者による未申請家庭への戸別訪問、希望集落の説明会等を展開し、一層の加入促進に努力します。



池田 義孝 議員

山・田が金を生む



大きな価値を生む山

池田 悲観することは無い。発想を変えれば山・田が大きな価値を生みます。バイオマスタウン構想の停滞は、事業の軽重仕分けができていないからです。①投資額が小さく、即事業化できるものと②額が大きく大手企業に任ずべきものに分け、①は一日でも早く取り組み、②は企業が大きく関心を向けるものを提示すべきです。

金になるのです。CO2の吸収や排出の量を数値化、データベース化し、自由自在に操る能力が重要です。関心があり行動的な若い職員が適します。金が無いなら、知恵を出し、汗を流そう。頭を使い身体を使うしかありません。どうお考えですか。

排出権取引に

対応していく

町長

バイオマス
タウン構想は、

協議を重ねるにつれ、技術革新が速く、投資リスクが大きいことから一部の具体化に、困難性を感じます。基本構想段階では民間発想に欠け、漠然とした工程表になっていますが、項目を絞り、先ずは木質チップボイラーを優先導入し、事業化します。

CO2排出権取引は、対応の準備をしています。

視察レポート

校庭芝生化で 学校園と地域が一体に

町内の学校園の校庭芝生化を求める声が大きくなっています。

4月13日総務常任委員会は、誰にでもできる芝生化を具体化したNPOグリーンスポーツ鳥取に視察に行きました。

町内の学校でも中庭などが芝生化されていますが、今全国では校庭を芝生化する動きが広がっています。

校庭を芝生化した町では、児童生徒、PTAや地域が協力し、芝刈りや水やりをおこなっているそうです。

【芝生のイメージ】

芝生とは野草が一本も混じっていない、青々と生え揃ったゴルフ場やサッカー場を誰しもがイメージしますが、野原や河原

が刈り込みによって芝生に変化する事を知りました。

NPOのリーダーは、芝生と雑草の違いは無いと言い切り、河原の刈り込みをした場所とそうでない場所を、横浜や京都などの方々と一緒に8名を含めた総勢20人の見学者に、裸足の歩行体験をさせました。感触の違いははっきりとあり、全員が納得をしました。

週一回ないし2週に一回の刈り込みを続ける事により、私たちが雑草と言っているものも芝生化し、刈り込みをしていない所にある苔も見えなくなっていました。



次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の2分の1復元と堅持に関する請願

請願者

兵庫県教職員組合多西支部長 谷尾秀伸さん

審査経過

この請願は、総務常任委員会で審議し、全員賛成で「採択」、次の意見書を国の関係機関に提出しました。



意見書の主旨

- ①きめの細かい教育の実現のために、義務制第8次・高校第7次教職員定数改善計画を実施すること。
- ②義務教育費国庫負担制度について、国庫負担率を2分の1に復元することを含め制度を堅持すること。
- ③家庭の所得により教育や進路に影響がでないよう、就学援助制度を拡充すること。奨学金制度について「貸与」から「給付」方式に改善すること。
- ④学校施設整備費、就学援助・奨学金など、教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。



ハイ、注目
— 中町南小学校 —

【芝生の効用と問題点】

芝生の運動場になると「体力がアップした」、「徒競走のスピードが速くなった」、「怪我が減少した」、「夏期地面温度が10度も下がった」、「砂煙がなくなった」、「昆虫等の生物観察ができるようになった」と多くの効用がある反面、土グランドよりも管理により多くの経費と時間が必要になります。

【多可町での芝生化】

6月20日に杉原谷小学校でPTA・児童・卒業生そして地域の皆さん総勢430人の手で、硬い運動場にポット苗を植え付けました。

今年の秋の運動会が楽しみと、疲れも見せず皆さんは素晴らしい笑顔で言われました。

(竹本克之)



芝生は気持ちがいね —鳥取市内の幼稚園—

楽しいふるさとづくり

小さな力が大きな交流に

— 八千代区下三原 —

町営住宅を含め104軒の集落の下三原。「むらづくり協議会」を中心に一年を通じて、村人の交流を大切に、ふれあいの活動を進めておられます。その活動を、区長さんにお聞きしました。

○主な活動は

毎月、下三原だよりを発行。ふれあいの活動の計画や、村のニュースなどをお知らせしています。

6月には老人会指導の下にさつまいも植えを。10月には3世代交流のグラウンドゴルフ大会を開いています。

11月には、「子どもたち」にふるさとの山に登ってほしい」という願いを込め、ふれあいのハイキングを。そしてその後、さつまいも掘りをします。

1月には調理実習。昨年は韓国のお好み焼きチヂミを実習。韓国の食習慣の話など、食べ物を通して異文化理解の研修も。3月には、村の行事や

活動の写真を載せたカレンダーを作成。各家や、施設等に配っています。その他、映画会や古典芸能を聞く会を、今年も計画しています。



ふるさとの山は気持ちがいいよ (ふれあいのハイキング)

○ご苦労は

毎年5月に開いているれんげまつり。休耕田を利用してれんげを育成。しかし、今年は鹿に食われ、れんげのない「れん

げまつり」をしました。また6月には、町花でもあるささゆりの群生地でも観賞する会を開く予定でしたが、これも鹿に食われ、10数本しか咲かず、今年中止にしました。来年に向けて対策を練らなければいけません。

○交流活動を進める上で のモットーは

3人いれば何かできます。できる人が、できる時間を使い、無理なく楽しんですることを心がけています。そして、息長く続けることが大事と思っています。

「忙しいから」で済ませてしまうことの多いこの時代。巣立っていくであろう子どもたちの心にしっかりとふるさとを刻みたいという思い。また人々の交流を大事にしたいという思いを大切に、これからも活動してください。ありがとうございます。

編集後記

五月のインフルエンザは発症以降、健康面だけでなく、経済面にも大きな影響を与えました。暑い夏本番のこの時期ですが、発症は止まらず、7月15日には、47都道府県に拡大という記事が出ていました。秋以降に大きな不安を残しています。

第25回定例会では、不況対策の、地域活性化経済対策臨時交付金を受けたい大きな補正となっています。次年度に予定の事業などに対応するものが主ですが、集落からの要望にも、一つでも多く応えてほしいものです。

最近、紫外線が気になります。日焼けがしみになるだけでなく、皮膚ガンへの心配もあります。皆さんも、紫外線対策に気をつけつつ、今年の暑い夏も乗り切ってください。(廣畑)